

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 28 年 1 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

新潟焼山では、昨年（2015 年）夏頃から噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12 月下旬からは噴煙量も多くなっています。

28 日に国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力により上空からの観測を実施しました。山頂火口からの白色噴煙は、火口縁上高さ約 100m まで上がり東に流れていました。火口付近に地熱域¹⁾を確認しています。

地震活動や地殻変動の観測データに特段の変化は認められません。今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2、図 3、図 4 - ）

28 日に国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力により上空からの観測を実施しました。山頂火口からの白色噴煙は、火口縁上高さ約 100m まで上がり東に流れていました。火口付近に地熱域¹⁾を確認しています。

新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、昨年（2015 年）夏頃から、山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、一時的には火口縁上 200m 程度まで上がっています。また、昨年（2015 年）12 月下旬からは噴煙量も多くなっています。

・ 地震や微動の発生状況（図 4 - 、図 5）

今期間、火山性地震は少ない状態で経過しました。長期的には 2015 年に入って地震回数がやや増加しています。火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 1、図 4 - ）

GNSS²⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

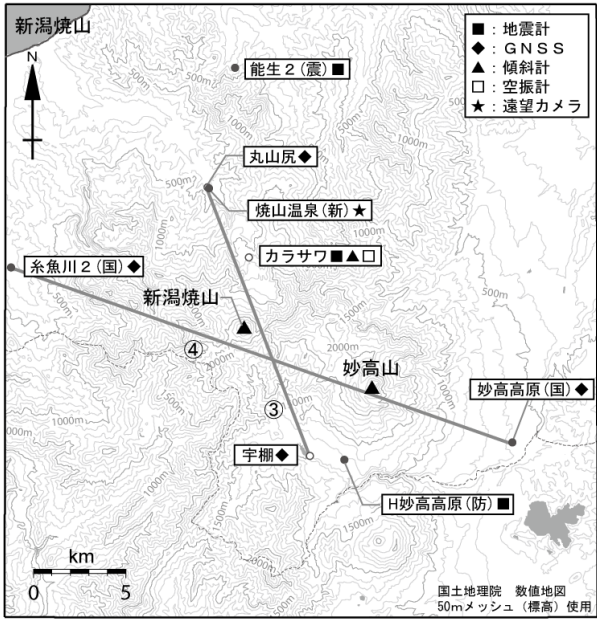
1) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。

2) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 2 月分）は平成 28 年 3 月 8 日に発表する予定です。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

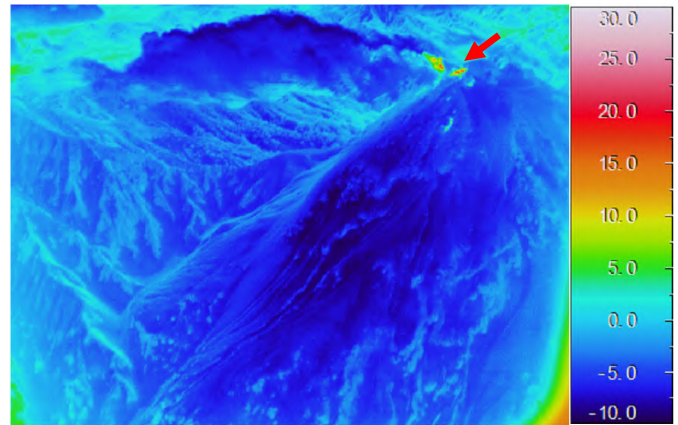


小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県

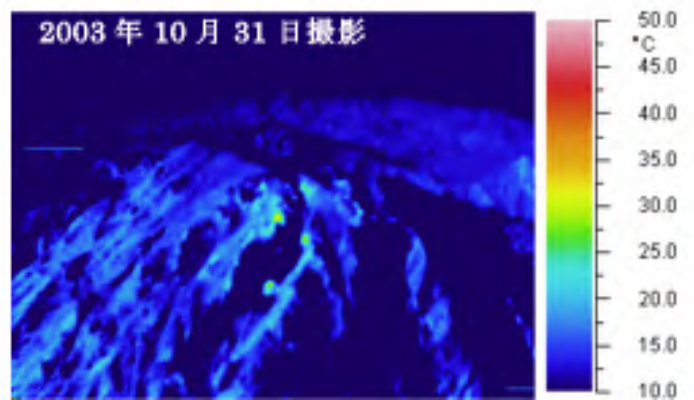
図 1 新潟焼山 観測点配置図
(GNSS 基線 は図 4 の に対応しています。)



図 2 新潟焼山 山頂部の状況
(1 月 26 日 焼山温泉監視カメラによる)



2016 年 1 月 28 日 11 時 14 分 北側より撮影（左：可視画像、右：熱赤外画像）
（国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力により実施）



2003 年 10 月 31 日 北北東側より撮影（左：可視画像、右：熱赤外画像） 赤丸は弱い噴気
（新潟県の協力により実施）

図 3 新潟焼山 赤外熱映像装置による山頂火口付近の地表面温度分布

- ・火口付近に地熱域を確認しています（上図赤矢印）。前回（2003 年 10 月 31 日）の観測時にはこのような地熱域は認められていませんでした。

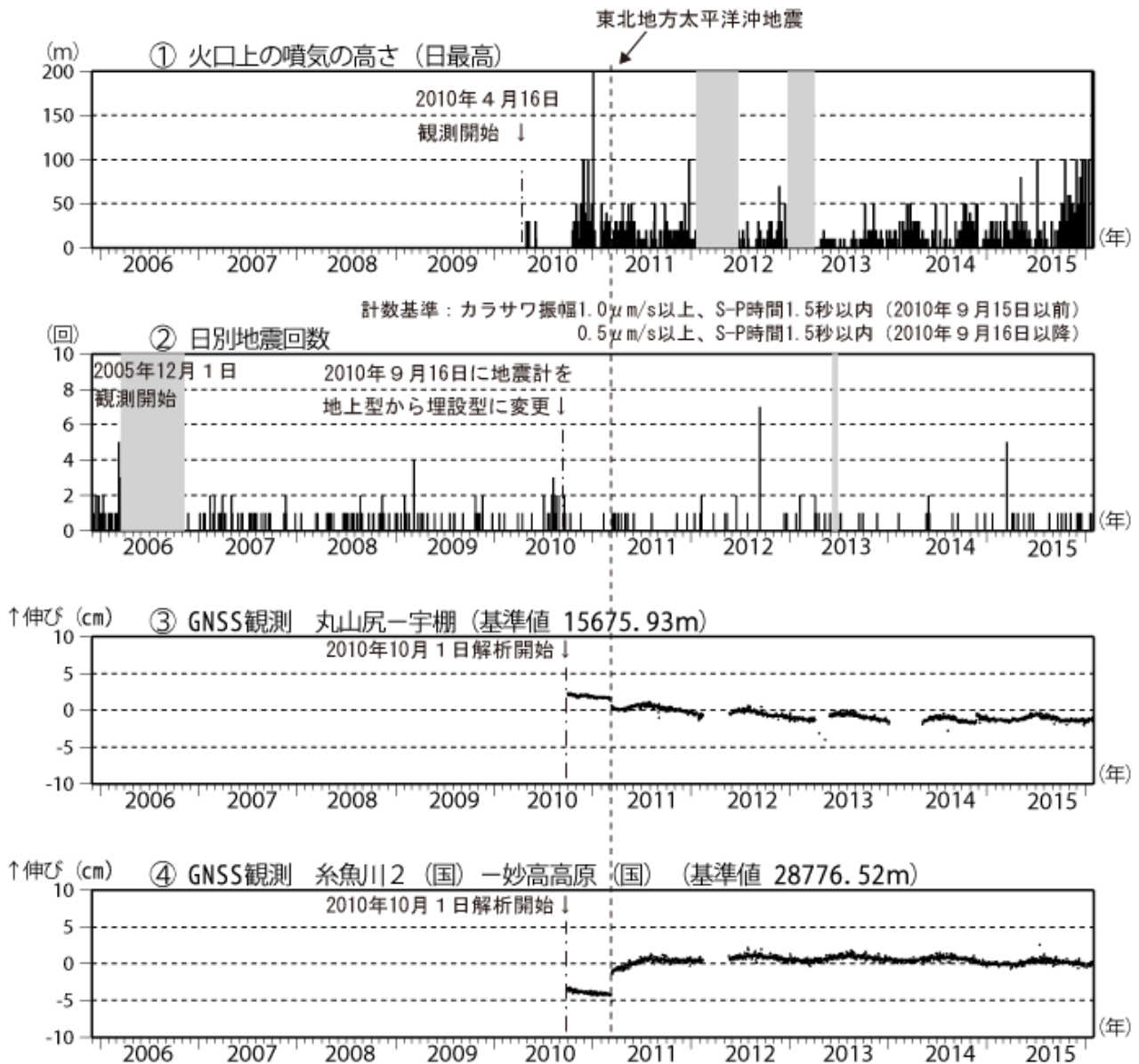


図 4 新潟焼山 火山活動経過図（2005 年 12 月 1 日～2016 年 1 月 31 日）

- ・ 定時観測（09 時・15 時）による日別最高の噴気の高さ
- ・ 昨年（2015 年）夏頃から噴煙の高さがやや高く上がる傾向がみられます。
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ GNSS 連続観測結果（国）：国土地理院
- ・ の基線には、2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・ は、図 1 の GNSS 基線 に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

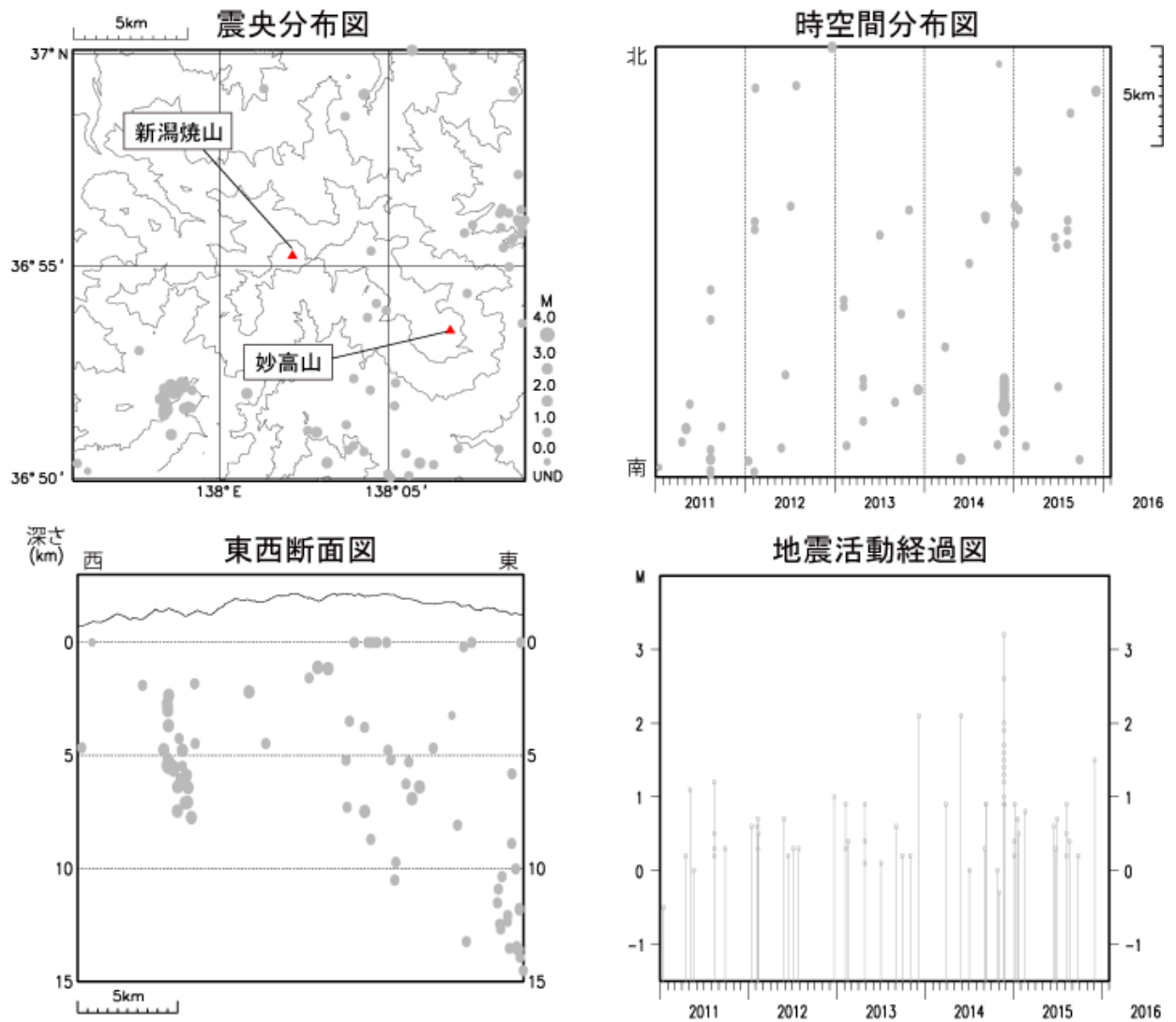


図5 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011年1月1日～2016年1月31日）

- ：2011年1月1日～2015年12月31日 ●：2016年1月1日～1月31日
- ・今期間、新潟焼山付近に震源の求まった地震はありません。
- ・M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。